



# 2012年5月号 農山村ネットだより

私たちの子や孫が住み続けたいと思う 帰りたいと思うそのような「山里」にしたい。訪れる人がまた来てみたいと思う 住んでみたいと思うそのような「山里」にしたい。そのような「山里」の山・川・里で自然にふれ山仕事をして野良仕事をして人と交わることが幸せだと思う。そんな輪（ネットワーク）を広げたい。

「とよた都市農山村交流ネットワーク」は、豊田市の農山村地域で「交流」というキーワードで地域の活性化をはかる活動をしている様々な個人や団体のゆるやかな集まりです。

## 5月のPICK UP!!

### 山里の知恵を学び、心と体を育む、農家民泊セカンドスクー

24年度は、五ヶ丘小4年生5年生が私たちの地域へやってきます。今年にはさらに小学校だけでなく、各地域会が中心となって、小中学生を対象にした子どもたちの声がいろいろなところで聞こえてくるようなさまざまな形の農家民泊事業を計画中です。

## 24年度総会のご報告

新実一俊議長の進行もと、議案が可決され、いよいよ24年度がスタート。セカンドスクールも多様な形態によるセカンドスクール実施計画（親子参加、学校有志、小グループ参加など）が決まり、また各地域会が中心となった交流事業や日帰り体験事業、トヨタ自動車労組の農業体験講座の継続、田んぼ体験も計画され、ひとまわり大きく広く都市と農山村の交流事業を展開します。

会員研修も昨年に続き、「農家力アップ、連帯力アップ」をめざし実施します。山里学校開催、ホームページ更新、あらたに「定住コーディネート」として定住にむけた取り組み、山里で活躍する多団体と協働で「農山村へのシフト」の講座、シンポなど農山村の過疎化をとどめ、農山村振興と持続可能な豊田市のために多くの市民に働きかけをします。

新役員が決定しました（敬称略）

世話人（代表）：山本薫久（足助）、世話人補佐（副代表）：鈴木正晴（旭）新実一俊（下山）

幹事：安藤公朗（旭）小川光夫（足助）鈴木智（足助）可児和義（稲武）仁熊信子（稲武）

西村文子（小原）柴田吉朗（下山） 監査役：戸田友介（旭）

（幹事会には他に交流市民の会から西川早人さんが参加されています）

（文：山本薫久）

# 地域会からの便利なコーナー

旭、足助、稲武、小原、下山の各地域会から活動の様子や企画のお知らせをお送りします。

## 各事業が順調にスタート

文：鈴木正晴

旭  
地域会

4月28日快晴、豊田市太田町は3つの事業が重なって大賑わい。

①太田町有志の皆さんが進めている「わくわく鋤鋤農業体験」の田おこしが行われ、ボーイスカウト豊田第5団の皆さんが参加。備中を手に最初はとまどっていたけれどだんだん慣れて驚くほどの面積を耕しました。休憩の間にはカエルを追いかける姿がとっても楽しそう。子どもたちにとって楽しい一日となったようです。

②昨年からはまった千年持続学校。板取の家の横にある廃屋を取り壊し、整地や新居の設計が進んでいます。既存の小屋は改装して使う予定。この日は、新居に使う材木の切り出しやコマイ作り、既存の小屋の屋根作りが行われました。大勢の力はすごいですね。既存の小屋に、みごとに立派な屋根がつけました。

③「お試し農園」24年度が本日開園。知立市お住まいの利用者Sさん。サツマイモを作ろうと張り切ってみえます。畝を作って、マルチをかけ、芽指しも完了。収穫が楽しみです。「お試し農園」は、田舎暮らしに興味のある人が、お試しに利用する農園です。田舎暮らし体験ができるお試し居住の館「板取の家」も併設されています。

太田町では、過疎化防止対策として、農都交流、耕作放棄地の解消を目指した農用地保全の取組、定住対策、森林保全などの活動が行われています。新年度が始まって、これらの取組が順調にスタートしました。



## 旬菜食講座スタート！

文：新盛里山耕流塾 鈴木智

足助  
地域会

開園式終了後 オリエンテーション、現地で作業と今年度の夢を思い描きながらの一日でした。米も野菜も豊作に成りますようにがんばりましょう。旬菜食講座は全ての受講生が初参加でした、



4月8日&21日新盛里山耕流塾市民農園；旬菜食講座スタートしました。

木々の芽吹きと共に暮らし体験館「すげの里」において市民農園が8日旬菜食講座が21日開耕式をしました、市民農園は田が11区画 畑が15区画すべて応募が有りスタートしました、



開耕式終了後、山菜取りに出かけ収穫した山菜にて本日の食事が出来ました、山菜の天ぷら、和え物、竹の子の煮物、など8種類ほどのご馳走でした。美味しかったです。食事後次回の為に、畑を耕運機で耕しました。

## 稲武の春は北海道のよう・・・

文：山里 Cyafe 仁熊信子

稲武  
地域会

今年は寒いと思っていたら、いっぺんに暖くなり、山菜もいっせいに最盛期を迎え大わらわのGWでした。さて、前回紹介した「稲武おしゃべりサロン」は「いろはにカフェX」と衣替えして、毎月第二水曜日、どんぐりの道の駅で開催されることになりました。どうぞ皆様ご参加ください。

5月、6月の稲武でのイベントのご案内です。

①田植え体験 5月26日27日(土・日) 26日午前11時半山里Cyafe集合  
稲武で開発されたイモチ病に強い品種「みねはるか」を手植え。  
翌日はヨモギを摘んでヨモギ餅作りと、  
摘み草料理をします。1泊4食で6000円。



②ホテルの会 6月30日(土) 16時に山里Cyafe集合  
稲武の人たちが復活させたホテルを鑑賞し、その後はちゃふえでパーティ。

①②の申込、問合せ先 山里Cyafe TEL0565-83-3003 <http://www.d2.dion.ne.jp/~nikuma/> へ

③チエ流マクロビオティック料理教室 5月28日(月)10時～どんぐり工房にて 費用2000円(材料費別途1000円程度)  
草木染めでおなじみのアンティマキさんが大阪から初田千恵子さんを招きマクロビオティック料理教室を開催します。  
申し込み、問合せ先 TEL&FAX0565-83-3304 e-mail auntie-maki@cb.wakwak.com

下山  
地域会

## 三河湖景観整備交流事業パートⅢ 朝から時々雪～とにかく寒い！

文：手づくり工房 山遊里 店長 新実一俊

参加者70名ほどで恒例の植栽活動を三河湖で行いました。  
名古屋、安城、岡崎からの参加者は寒さと雪にみなさんビックリ！  
大喜びは子供たち。雪に向かって口をあける子、袋に入れる子、  
とにかく大はしゃぎ。



お昼までに予定のコバノミツバツツジ320本を植え終え、お待ちかねの昼食タイム。毎回シイタケの菌打ちを行ってききましたが、今年やっと皆さんに食べていただけました。それぞれ自分で収穫し、洗ってすぐに炭火焼。「おいしい！」と全員満足でした。午後から2,000コまほシイタケの菌打ちを行いました。吹雪になり大人は寒さに負け終了。今回は平針スイミングスクール、竜城スイミングクラブの子供たちがとてもがんばってくれました。「ありがとう！」

次回の植栽活動は、三河湖竣工50周年として「ナンジャモンジャ」の植栽を予定しています。また、皆さんの参加をお待ちしています。

## 農山村が輝く新緑の季節

文：西村自然農園 西村文子

小原  
地域会

気候もさわやかで緑も美しい都会の方々に農村へきていただき交流するには、とてもよい時期です。  
愛農流通センターの「矢作自給村稲穂の里」では休耕の田んぼをみんなで耕し、米を作ったり、畑で野菜を作ったりする会員を募集中です。秋には出勤時間に応じてお米を分配します。お問い合わせください。(0565-65-2080)

小原北部生活改善センターでは会員の農家で、おぼら山菜園をこの時期オープンしています。2時間大人1000円、小人500円でワラビなどの山菜ととらせてもらえます。お問い合わせは、小原に山菜園をつくる会(0565-65-3905 児島まで)

西村自然農園(0565-65-2869)では、お茶づくり、イタドリのジャムづくり、釜炒り茶、紅茶作り、スギナのふりかけなど自然を活かしたたくさんの手作りが楽しめます。6月は近くの可児農園(0565-65-2863)で梅刈りができます。ぜひおでかけください。

## 今後の予定

7月17日(火) 18:30 杉ん子の里(杉本) セカンドスクール受入研修会  
10月9日(火) 8:00 杉ん子の里(杉本) 集合出発 先進地視察  
「泰阜村(長野県)の暮らしの学校いだらぼっち、山賊キャンプなど NPOグリーンウッズ」  
2月5日(火) 10:00~14:00 西村自然農園 発酵食 発酵飲料  
その他 各地域の資源、交流事業から学ぼう 未定

## 今年も大豆、作ります。一緒に作ってくれる人、大募集!! (交流市民の会)

交流市民の会(豊田市農山村を応援する主に都市部住民)では、味噌づくりを3年前からやっています。旭地域のいたどりの家で、自主講座としてです。昨年の講座のとき、あるかたが「どうせなら大豆から作りたいよな・・・」といったのをきっかけに素人の大豆づくりが始まりました。旭地区のネットワーク事務所横で地元の方の指導を受けながら7月ごろから12月まで取り組みました。結果、「よい大豆ができたね・・・」と地元の方からお褒めの言葉をいただく出来でした。そして、今年の1月には、味噌を作りました。来年の1月が楽しみです。しかし・・・大豆づくりといっても、なかなか大変で・・・大豆づくり隊長の三輪さん(旧豊田市在住)を先頭にカメムシともたたかいながら・・・去年は少人数でおこなったのでなかなかたいへんでした。そこで、今年は「大募集です」一緒につくってくれる人連絡ください。

まってま～す。

西川早人 052-842-3866(TEL & FAX) n-hayato@beach.ocn.ne.jp

### ネットワーク会員募集中

山里から知恵を学び、山里の豊かな自然や文化を次の世代に受け継ぎ、山里での暮らしを大切に生きる。

山里でいろいろな交流をしてみたい方、昔ながらの知恵を学ばせてくださる方、花木や昆虫などの物知りさん、体験の受け入れをしてみようと思われている方、お手伝いをしてみたいという都市部の方、どんな方でも参加できます。

皆さんと一緒に楽しみましょう!

年会費500円 ネットだよりを隔月発送します。

### 編集後記

今月から農山村ネットだよりを編集することになりました。かえるの鳴き声が大きくなってきましたね。皆さん、もうすぐ田植えで忙しい時期を過ごされていることと思います。4月で息子が1歳になりよちよちと歩みだしました。毎日が新鮮で毎日一歩ずつ進んでいく姿に、親のほうに教えられることの多い毎日です。子育てしやすい山里の環境に感謝して、今日もがんばります。(戸田)



### 発行元

とよた都市農山村交流ネットワーク 世話人代表 山本薫久  
〒444-2816 豊田市杉本町三斗成1-3 tel&fax 0565-68-1113

mail:nosanson@hm10.aitai.ne.jp HP:http://www.toyotasanson.net/

